

九州・山口地域 世界遺産登録に向けた応援宣言

～「九州の宝」を「世界の宝」へ～

政府においては、2017年度から2020年度の4年間の新たな「観光立国推進基本計画」を策定し、2020年訪日外国人旅行者数4,000万人などの目標を掲げ、世界が訪れなくなる「観光先進国・日本」への飛躍に向けて積極的な取り組みが進められている。

ここ九州・山口地域でも、「九州観光戦略」の実行組織として、2005年に九州観光推進機構を設置し、観光産業を九州の基幹産業とするべく、官民一体となって取り組んできた。

また、2019年のラグビーワールドカップなど、国際スポーツ大会開催の契機を生かし、世界遺産をはじめとした九州の文化遺産や自然遺産、ナショナルパーク化を進める国立公園などを積極的に活用した九州広域の商品開発・プロモーションを行っている。

【参考】九州・山口地域の世界遺産

＜文化＞

- ・琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄）＜2000/12＞
- ・明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（山口・鹿児島・佐賀・長崎・福岡・熊本）＜2015/7＞
- ・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群（福岡）＜2017/7＞

＜自然＞

- ・屋久島（鹿児島）＜1993/12＞

しかしながら、昨年の熊本地震により九州の観光のシンボルである阿蘇も大きく傷ついたため、その価値を改めて国内外へ広く知らしめ、将来に守り継いでいく必要がある。

そこで、観光地としての九州・山口地域のブランド力を更に高め、地域活性化に繋げるためにも、九州・山口地域の世界遺産登録に向けた取り組みを官民一体となって応援していくことをここに宣言する。

- 1 阿蘇
- 2 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
- 3 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
- 4 その他の取り組み

平成29年11月1日

九州地域戦略会議

共同議長

広瀬 勝貞

共同議長

麻生 泰